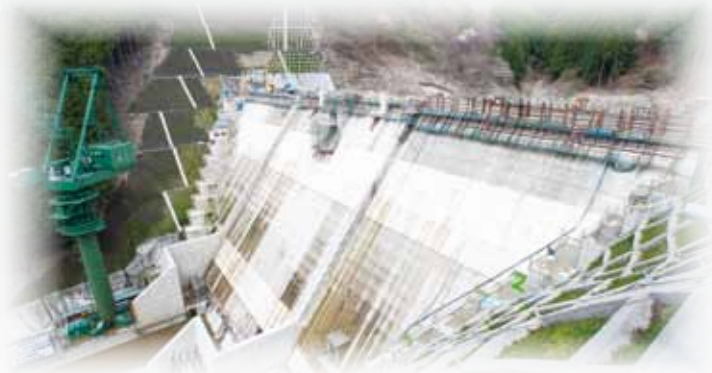


業 務 案 内

2013



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

ごあいさつ

平成25年 4 月



公益財団法人
兵庫県まちづくり技術センター

理事長 辻 井 博

兵庫県まちづくり技術センターは、「元気で安全・安心な兵庫」の実現を支援するため、高度な技術力を有する公益財団法人として「設計・積算・工事監理」「下水道施設の維持管理・建設支援」「土地区画整理・景観づくり支援」「埋蔵文化財調査」の四つの分野の事業展開と、これらを支える「技術の拠点・技術者育成」を加えた五つを柱とし、「効率的な社会基盤の整備・管理」と「開発と文化財保存の調和」に取り組んでいます。

兵庫県では、今後の社会基盤整備について、想定を上回る災害にも「備える」防災・減災対策の強化、日常生活や地域を「支える」基盤整備の充実、良質な社会基盤を次世代に「つなぐ」計画的・効率的な維持更新などを重要な視点として、整備を進めることとされています。

こうした状況を踏まえ、当センターは、今まで培ってきた知識・技術力に更なる磨きをかけながら、役員、職員が一丸となって、なお一層兵庫の社会基盤施設の防災・減災対策、老朽化対策などの技術支援に取り組むとともに、開発と文化財保護の総合調整機能も発揮しつつ、社会基盤整備に関する総合的な行政支援機関としての役割を果たしてまいりたいと考えています。

今後とも、「やる気・元気そして信頼のセンター」をめざして全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご指導を賜りますとともに、積極的なご活用をいただきますようお願い申し上げます。

設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、まちづくり活動等の支援、流域下水道事業及び流域下水泥処理事業に係る維持管理等を行うことにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくり並びに生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的とする。

■ 基本財産 5億5700万円

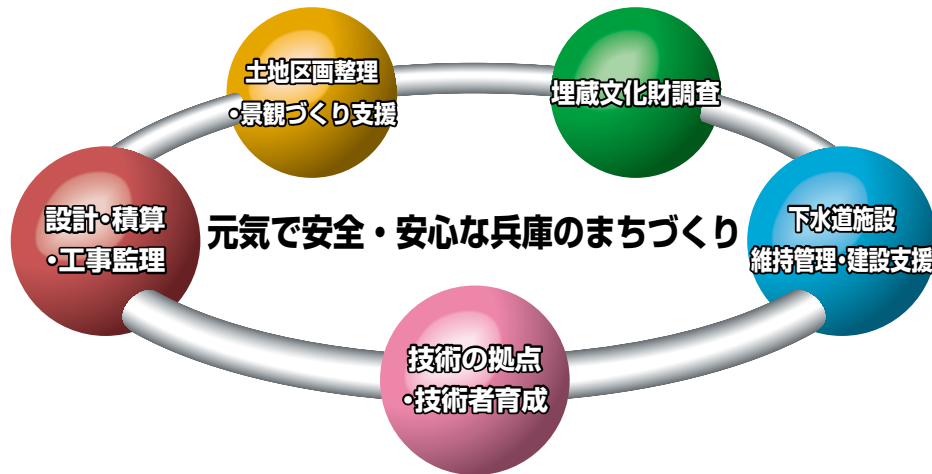
■ 設立年月日 平成8年4月1日

■ 出捐者 兵庫県及び県内29市12町(県内全市町)

事業体系

高度な技術力を有する公益財団法人として 兵庫の社会基盤整備を 総合的に支援します。

～ 効率的な社会基盤の整備・管理、開発と文化財保存の調和を実現 ～



設計・積算・工事監理

- 大規模、特殊工事等の設計・積算・工事監理
- 長寿命化修繕計画策定と老朽化対策工事(改築、更新)
- 防災減災対策、災害復旧工事

設計・積算・工事監理

下水道施設の維持管理・建設支援

- 流域下水道施設等の維持管理
- 公共下水道の建設・改築支援、下水道知識の普及啓発
- 排水設備技術者資格試験

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・景観づくり支援

- 都市計画及び土地区画整理事業の調査、計画
- 震災被災地への専門家派遣、活動助成
- 修景助成、修景支援、景観形成等活動助成

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

- 開発に伴う発掘調査
- 出土品整理
- 埋蔵文化財の公開と活用

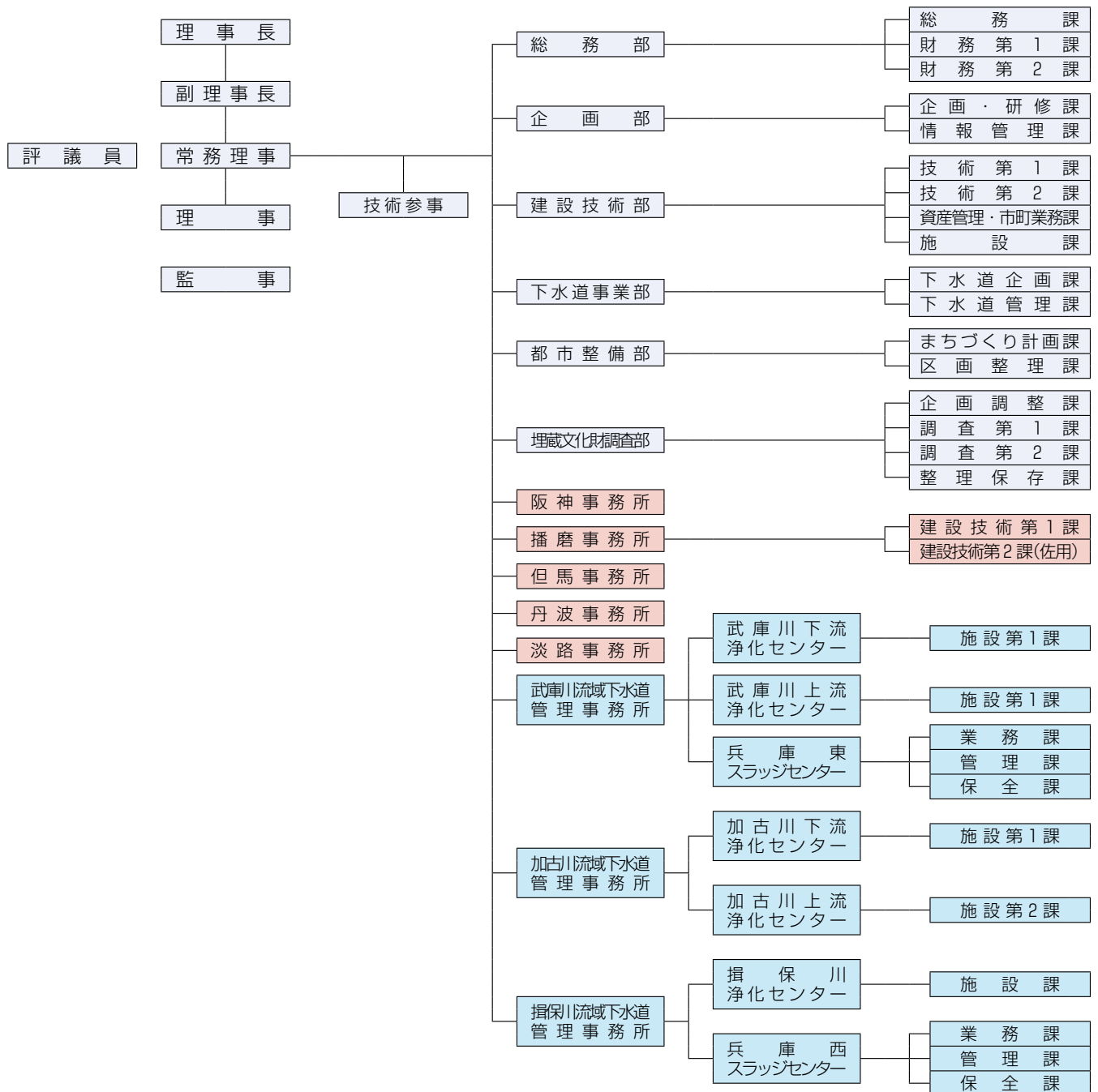
埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

- 技術情報の管理、提供
(積算共同利用システム・社会基盤施設総合管理システムの運営等)
- 防災エキスパート活動支援
- 技術公務員の階層別、専門分野別研修

技術の拠点・
技術者育成

組織図



評議員名簿

神戸市副市長	小柴 善博
尼崎市副市長	岩田 強
加古川市副市長	中田 喜高
赤穂市副市長	明石 元秀
豊岡市副市長	中川 茂
丹波市副市長	鬼頭 哲也
洲本市副市長	濱田 育孝
兵庫県県土整備部県土企画局長	古川 直行
兵庫県県土整備部土木局長	田中 稔
一般社団法人兵庫県建設業協会専務理事	石田 恭一
兵庫県下水道協会事務局長	藤野 明
流通科学大学総合政策学部総合政策学科教授	森津 秀夫
神戸大学大学院工学研究科教授	道奥 康治

(平成25年4月1日現在)

役員名簿

理事長	辻井 博
副理事長	榊原 敏夫
常務理事	森口 昌仁
//	小西 克彦
//	松谷 清生
理事 (姫路市副市長)	寺前 實
// (たつの市副市長)	小西 千之
// (多可町副町長)	工古田隆夫
// (神戸大学大学院工学研究科教授)	森川 英典
// (流通科学大学総合政策学部総合政策学科教授)	酒井 彰
監事 (播磨町副町長)	山下 清和
//	兼崎 健一

(平成25年4月1日現在)

● 役職員数

区分	固有職員	兵庫県職員	市職員	土地開発公社	技術専門員等	事務嘱託等	計
役員	3	3	0	0	0	0	6
総務部	3	12	0	0	0	6	21
企画部	6	5	0	0	3	2	16
建設技術部	15	7	0	1	9	5	37
下水道事業部	6	3	1	0	2	1	13
都市整備部	12	0	0	0	1	3	16
埋蔵文化財調査部	0	21	0	0	1	42	64
事務所	7	11	0	4	24	6	52
管理事務所	24	8	9	0	6	8	55
計	76	70	10	5	46	73	280

● 技術顧問

氏名	職名	専門分野
足立 紀尚	(一財)地域地盤環境研究所代表理事(京都大学名誉教授)	トンネル工学、岩盤工学
加賀有津子	大阪大学大学院教授	地域・都市再生デザイン
小林 潔司	京都大学大学院教授	計画マネジメント
酒井 彰	流通科学大学教授	下水道工学、環境工学
福島 徹	兵庫県立大学教授	都市工学、地域システム分析
福田 知弘	大阪大学大学院准教授	環境デザイン、情報通信技術
村橋 正武	立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員	都市計画、地域計画
森川 英典	神戸大学大学院教授	アセットマネジメント、コンクリート工学

(50音順)

● 職員の技術資格一覧

資格種別	人数
技術士(建設部門)	3
技術士(上下水道部門)	1
技術士補(建設部門)	12
技術士補(上下水道部門)	3
技術士補(情報工学部門)	1
技術士補(衛生工学部門)	1
1級土木施工管理技士	35
2級土木施工管理技士	8
土地区画整理士	23
公共工事事品質確保技術者Ⅰ	1
1級建築士	4
コンクリート診断士	1
コンクリート主任技士	1
コンクリート技士	8
1級造園施工管理技士	4

資格種別	人数
2級造園施工管理技士	2
測量士	13
測量士補	15
第1種下水道技術検定	2
第2種下水道技術検定	6
第3種下水道技術検定	23
下水道管理技術認定	1
1級管工事施工管理技士	1
CAD利用技術者2級	3
VEリーダー	1
第2種電気主任技術者	3
第3種電気主任技術者	16
危険物取扱者	30
エネルギー管理士	4
エネルギー管理員	24

● 組織の沿革



設計・積算・工事監理

1 大規模、特殊工事等の設計・積算・工事監理

(1) 県事業への支援

県が実施する公共土木工事、設備工事の設計・積算・工事監理を受託することにより発注者支援を行います。

① 設計監理

最新の技術情報と豊富な経験により、コンサルタント等の指導を行います。

② 積算

公平公正、守秘性を確保します。また、会計検査時には技術的サポートを行います。

③ 工事監理

技術管理規程や監督要領等を遵守し、的確に請負業者を監督します。また、②積算と同様に会計検査時には技術的サポートを行います。

(2) 市町事業への支援

県事業と同様に、市町の実施する公共土木工事の設計、積算、工事監理業務等を受託するほか、事業の計画から完了まで事業全般にわたり支援します。

また、市町の検査業務を支援する建設工事支援検査業務も受託します。

① 設計・積算・工事監理支援業務

最新の技術情報と豊富な経験により、公共工事の計画、設計の支援を行います。併せて、仕様書、設計書等の契約に必要な書類についての助言を行います。

公平公正の確保と関係法令を遵守し、兵庫県土木工事標準積算基準書に準拠した積算を行います。

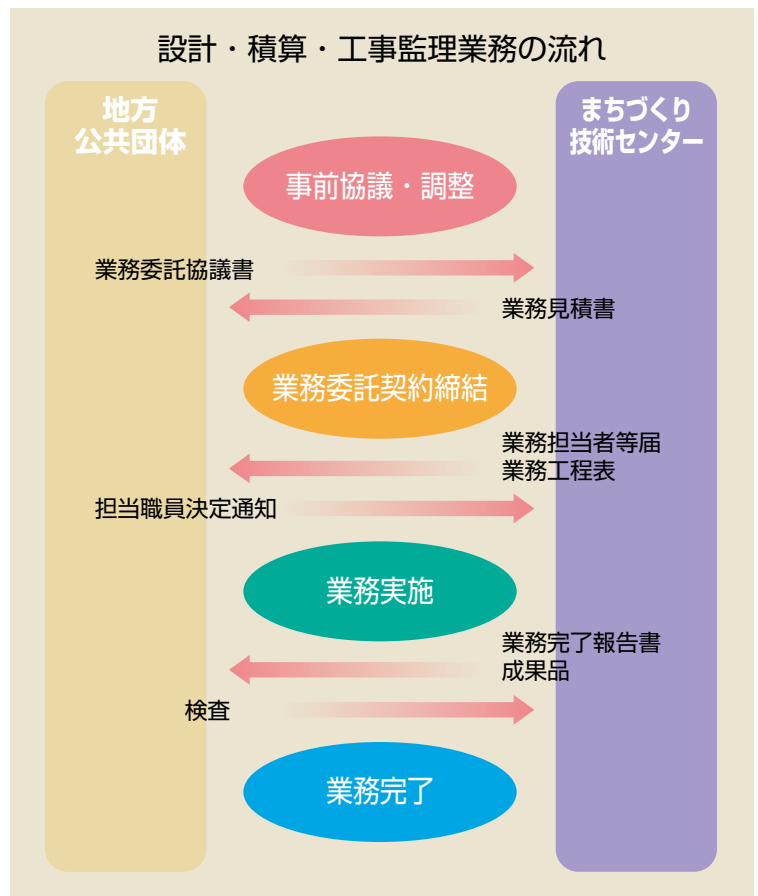
技術管理規程や監督要領等を遵守し、発注者の補助者として工事監理を行い、必要に応じ、変更設計・積算についても、支援します。

これらの設計・積算・工事監理の一括支援により、トータルコストの縮減を図ることができます。

② 建設工事支援検査業務

工事のより適切な施工の確保、工事施工状況のより公平公正な評価を行うため、市町の検査業務を支援する業務を行います。道路、河川等の土木工事について、当センターの「支援検査員」が検査員(市町)、監督員並びに請負業者等の立会のもと、設計図書等に基づき、工事实施状況の検査及び現場での出来形・品質の検査を行うとともに、工事成績の参考評価を行います。

設計・積算・工事監理業務の流れ



河 川

工 事 名：千種川水系佐用川 円光寺井堰下部工事
委 託 者：光都土木事務所
受託内容：積算・工事監理



砂 防

工 事 名：岩戸台谷川 砂防堰堤工事
委 託 者：洲本土木事務所
受託内容：積算・工事監理



ダ ム

工 事 名：由良川水系滝ノ尻川 西紀ダム堤体建設工事
委 託 者：丹波土木事務所
受託内容：積算・工事監理



設 備

工 事 名：円山川水系六方川 排水機場改築工事
委 託 者：豊岡土木事務所
受託内容：積算・工事監理



橋 梁

工 事 名：市道東条社線 大石橋上部工架設工事
委 託 者：加東市
受託内容：積算・工事監理



トンネル

工 事 名：町道山野部坂本線 (仮) 山野部坂トンネル工事
委 託 者：多可町
受託内容：積算・工事監理



設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

2 長寿命化修繕計画策定と老朽化対策工事(改築、更新)

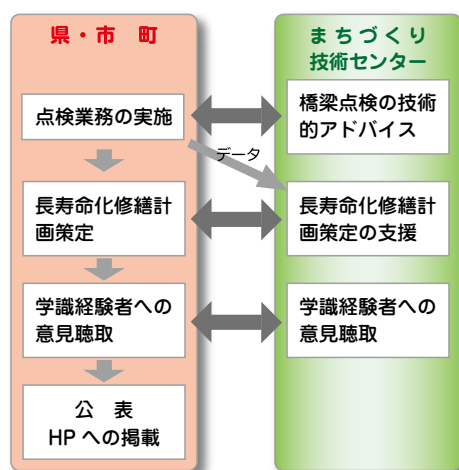
県、市町から橋梁長寿命化修繕計画策定業務を受託し、道路橋長寿命化に向けた取り組みを支援します。

また、長寿命化修繕計画を踏まえ、橋梁補修等施設の老朽化対策工事に係る設計・積算・工事監理業務を受託し、発注者を支援します。

- ◆ 老朽化した橋梁の増加
- ◆ 行財政構造改革に伴う予算の削減



従来の対症的な修繕・架替えから脱却し、予防的な修繕・長寿命化へと政策転換を図る必要があります。



橋梁長寿命化修繕計画策定支援フロー図

- ・点検の実施方法等についてアドバイスします。
- ・点検結果の精査を支援します。
- ・橋梁点検講習会を実施します。
- ・深刻な損傷と思われる橋梁については個別に対応します。

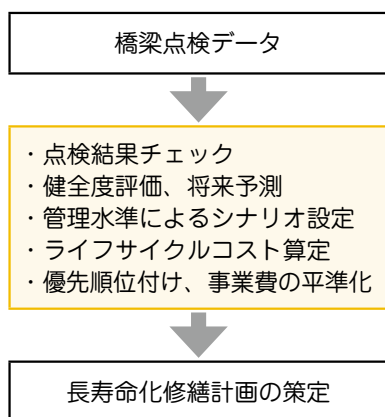


学識経験者意見聴取状況



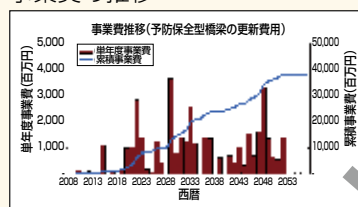
橋梁損傷確認状況

「橋梁マネジメントシステム」により、将来の健全化予測、事業費の平準化案の作成等を行います。

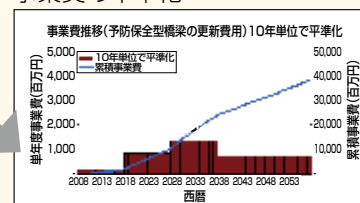


橋梁マネジメントシステム

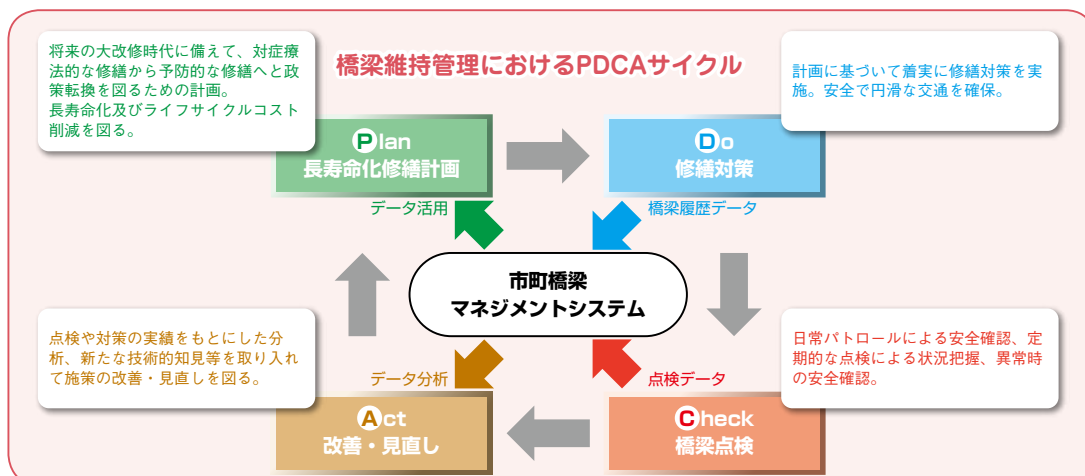
事業費の推移



事業費の平準化



橋梁の維持管理は、継続的な橋梁点検、計画的な補修対策を行うとともに、適宜長寿命化修繕計画を見直すことにより、ライフサイクルコスト削減ができるマネジメントサイクルを構築することが重要です。



また、橋梁長寿命化修繕計画策定後も橋梁修繕が円滑に行えるよう支援を行います。

①橋梁カルテ作成支援

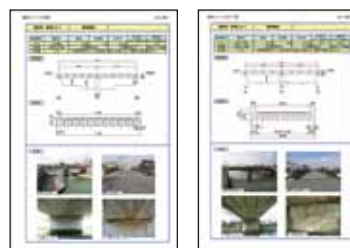
橋梁長寿命化修繕計画策定の結果、早期に詳細な調査、補修が必要とされた橋梁について、必要となる調査項目と補修方法を取りまとめたカルテを作成します。

②設計・積算・工事監理支援

計画策定後、補修設計への助言や、その後の積算・工事監理を支援します。

③データセンターとしての支援

当センターでは、市町が管理している橋梁の諸元情報、点検履歴、補修履歴等の登録機能を有した「市町橋梁マネジメントシステム」を構築し、インターネット上での検索、閲覧を可能としています。



橋梁カルテ成果品



「市町橋梁マネジメントシステム」台帳機能

3 防災減災対策、災害復旧工事

頻発する台風災害等に伴う災害復旧事業の設計・積算・工事監理業務を受託し、防災対策、災害復旧工事を積極的に支援します。

また、東日本大震災に係る復旧・復興事業を一層支援するため、公益社団法人宮城県建設センターへの職員派遣の継続に加え、インターネットを介した遠隔積算に取り組んでいます。



災害復旧事業 積算・工事監理支援



インターネットを介した遠隔積算

設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

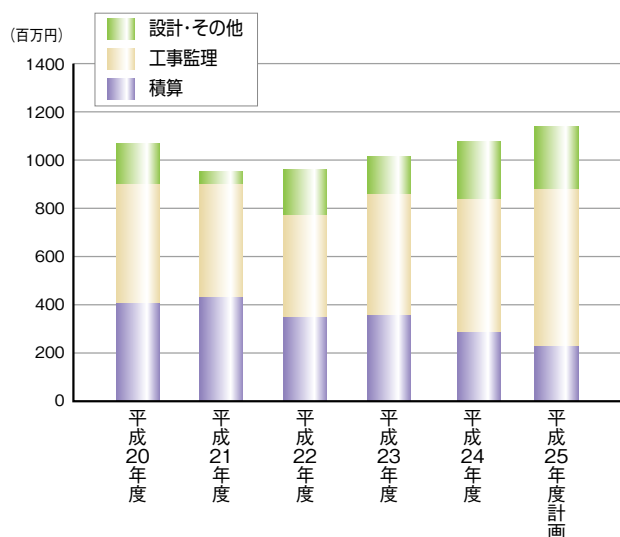
土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

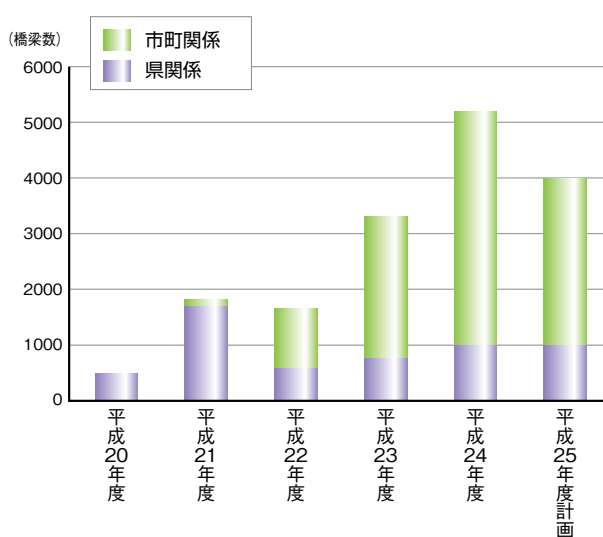
技術の拠点・技術者育成

■ 受託実績

◇ 建設事業



◇ 長寿命化修繕計画策定橋梁実績



下水道施設の維持管理・建設支援

1 流域下水道施設等の維持管理

(1)流域下水道事業に係る維持管理

兵庫県が流域別下水道整備総合計画（大阪湾、播磨灘）の中で流域下水道事業を位置付け整備を進めてきた「猪名川」、「武庫川」、「加古川」及び「揖保川」の4流域6処理区における維持管理業務を、兵庫県より受託しています。
（処理人口：約194万人、現有処理能力：約101万m³/日）

①猪名川流域下水道

原田処理区は、右岸第一幹線を始め、幹線管渠等の維持管理を行い、污水处理は大阪府豊中市の原田処理場で行っています。

②武庫川流域下水道

ア 上流処理区は、武庫川上流浄化センター及び三田、神戸幹線管渠等の維持管理を行い、神戸市・西宮市・三田市の污水处理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

イ 下流処理区は武庫川下流浄化センター、南武中継ポンプ場等及び武庫川幹線管渠等の維持管理を行い、尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市の污水处理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

③加古川流域下水道

ア 上流処理区は、加古川上流浄化センター、王子中継ポンプ場等及び神戸幹線管渠等の維持管理を行い、神戸市・西脇市・加西市・三木市・小野市・加東市の污水处理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

イ 下流処理区は、加古川下流浄化センター及び稲美幹線管渠等の維持管理を行い、加古川市・高砂市・稲美町・播磨町の污水处理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

④揖保川流域下水道

揖保川処理区は、揖保川浄化センター、正條中継ポンプ場等及び揖保川幹線管渠等の維持管理を行い、姫路市・たつの市・宍粟市・太子町の污水处理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

流域下水道事業計画箇所図



(2)流域下水汚泥処理事業に係る維持管理

阪神・播磨地区における下水汚泥の処理・処分について、兵庫東流域下水汚泥処理場及び兵庫西流域下水汚泥処理場の維持管理業務を兵庫県から受託しています。(現有処理能力(脱水汚泥):約1,090t/日)

①兵庫東流域下水汚泥処理

兵庫東スラッジセンター(兵庫東流域下水汚泥広域処理場)、送泥ポンプ場、送泥管等の維持管理を行い、尼崎市、西宮市、芦屋市の各公共下水道及び武庫川上流・下流流域下水道からの汚泥受け入れとともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

②兵庫西流域下水汚泥処理

兵庫西スラッジセンター(兵庫西流域下水汚泥広域処理場)、送泥ポンプ場、送泥管等の維持管理を行い、姫路市、たつの市、太子町の各公共下水道及び揖保川流域下水道からの汚泥受け入れとともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

県内の流域下水処理場及び下水汚泥広域処理場



加古川上流浄化センター



加古川下流浄化センター



揖保川浄化センター



兵庫西スラッジセンター



武庫川上流浄化センター



武庫川下流浄化センター



兵庫東スラッジセンター

設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

(3)包括的民間委託の導入

流域下水道及び流域下水汚泥処理の運転管理業務について、コスト縮減を図るために民間事業者の創意工夫を活かした包括的民間委託を導入しています。

2 公共下水道の建設・改築支援、下水道知識の普及啓発

(1) 公共下水道事業の建設・改築支援

① 建設支援

下水道整備を行う上で、技術力を必要とする市町から公共下水道施設の設計、積算、工事監理を受託し、建設支援を行っています。



工事名：共同污水处理施設建設工事
委託者：新温泉町
受託内容：設計・積算・工事監理



工事名：南鶴崎雨水・污水管渠布設工事
委託者：淡路市
受託内容：設計・積算・工事監理

② 改築支援

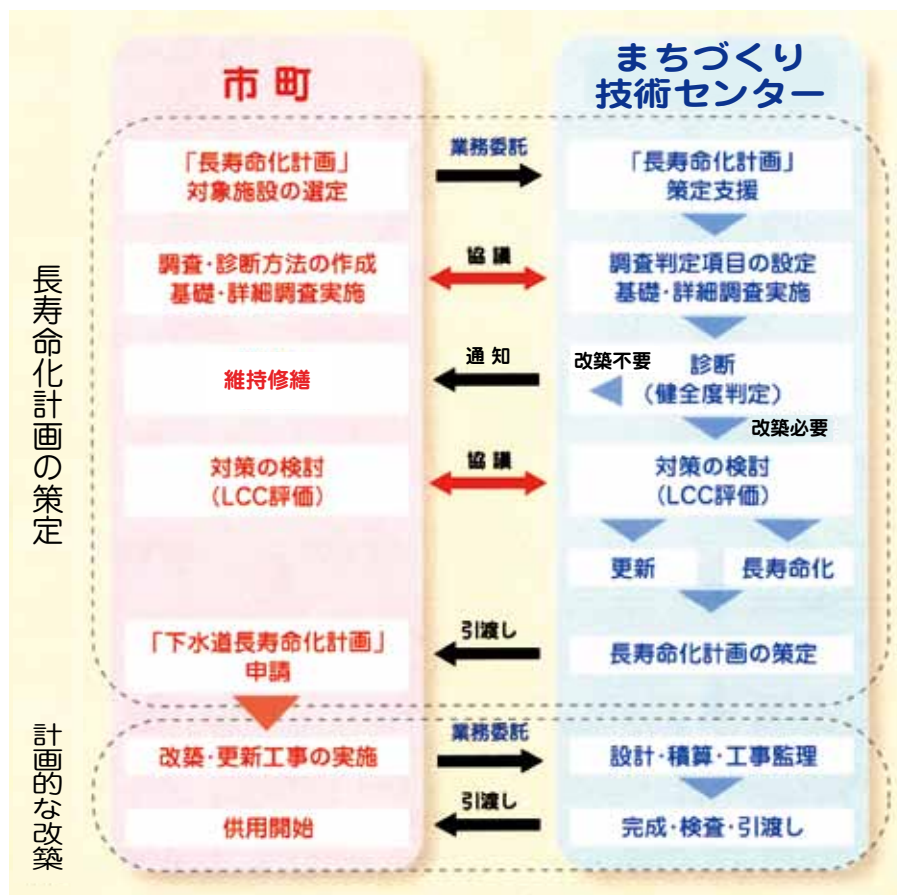
社会生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の事故等を未然に防止するため、限られた財源の中、ライフサイクルコストの最小化の観点

点を踏まえた「長寿命化計画の策定」と「計画的な改築」を支援します。

平成25年度以降は、下水道施設の改築・更新に国費を導入するためには、予防保全的な管理を行うとともに、「下水道長寿命化計画」に基づくものに限定されることになります。

当センターでは、長寿命化計画の策定から改築・更新工事の設計・積算・工事監理まで一貫して支援します。

「長寿命化計画の策定」と「計画的な改築」の支援フロー



(2) 計画的・効率的維持管理への支援

① 下水道と関連事業の連携強化に関する支援

下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の污水处理施設のより一層の効率的、適正な整備を進めるため、市町の関連部局の連携による「処理場統廃合基本計画」の策定や、下水道と他の污水处理施設の共同処理施設等を整備する「污水处理施設共同整備事業」を受託するなどの支援を行っています。

② 水質分析支援

各市等の水質・汚泥検査業務を受託し、一括発注による共同水質検査を行うことにより、経費節減、維持管理業務の広域化、共同化等の支援を行っています。



水質検査状況

(3) 下水道知識の普及啓発

日常生活を支える重要な施設である下水道への理解を深めていただくことを目的として、浄化センター見学会を開催し、下水道施設のPR、下水道の役割、効果等について説明しています。

またリーフレット等を作成し、地域住民、行政機関等へ配布するとともに、啓発ビデオの上映を行っています。

見学会の開催と広報活動の実施



平成25年度は、春の大型連休や夏休み期間中に、浄化センターの施設見学会を開催するとともに、社会科授業の一環として小学生の見学会や、中学生の「トライやる・ウィーク」、地域住民を対象とした施設見学会を実施いたします。

3 排水設備技術者資格試験

県内各市町との協定に基づき、下水道排水設備工事責任技術者の技術水準の維持・向上と市町事務の省力化を図るため、県内統一の責任技術者試験、受験講習及び更新講習を実施します。

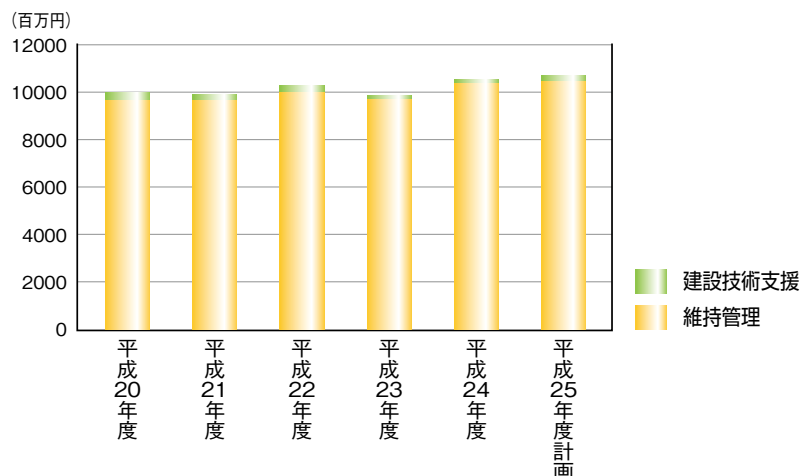
平成25年度の試験・講習の実施予定	
更新講習	平成25年 7月 9、11、18、23日 県内各地域(淡路市・豊岡市・姫路市・神戸市)
受験講習	平成25年10月上旬～中旬
試験	平成25年11月10日(日)

下水道排水設備工事責任技術者講習の受講者数と合格者数の推移

名 称	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度計画
責任技術者更新講習受講者数	319人	5,336人	706人	618人	369人	444人※
責任技術者受験講習受講者数	168人	178人	108人	125人	109人	約120人
責任技術者試験合格者数	125人	214人	67人	100人	88人	—

※平成25年度の「更新講習受講者数」は対象者数

■ 受託実績



土地区画整理・景観づくり支援

1 都市計画及び土地区画整理事業の調査、計画

都市計画及び土地区画整理事業を中心とした各種市街地整備事業への支援など、各市町の特徴あるまちづくりの実現にむけた総合的な取り組みを展開しています。

(1)市町まちづくり推進調査支援

市町のまちづくり行政を広く支援するため、センターの自主事業である「市町まちづくり推進調査支援制度」により、市町と協働して様々なまちづくりの事業化に向けた取り組みを支援します。

(2)都市計画への支援

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、市町都市計画マスタープラン、市街化調整区域の土地利用計画、地区計画等の各種都市計画に関連する図書の作成を支援しています。

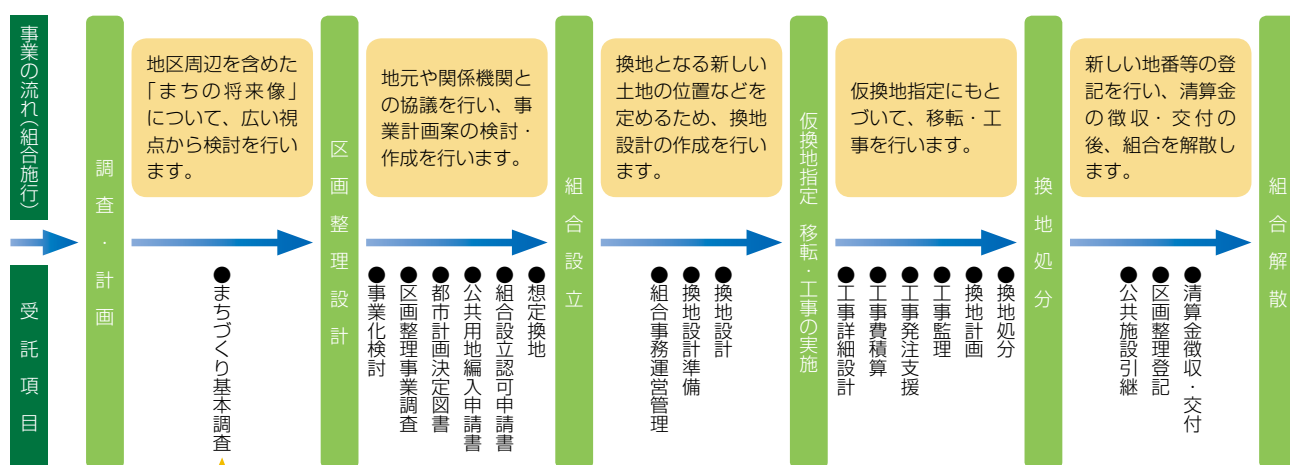
また、社会資本整備総合交付金の活用を図るため、都市再生整備計画の作成を通して個性あるまちづくりを支援しています。

(3)土地区画整理事業への支援

市町及び土地区画整理組合等が行う土地区画整理事業を総合的にサポートするため、事業化に向けた調査・計画及び事業認可図書作成、土地の権利変換を行う換地設計、換地計画及び換地処分、事業運営支援として工事関連図書作成及び運営事務補助等を行います。

また、円滑な土地区画整理事業の推進のため、市町及び土地区画整理組合等の行う説明会・勉強会に出席し、住民意向の反映や合意形成を促進するとともに、県・市町の関係部局との協議・調整を支援しています。

総合的に土地区画整理事業を支援

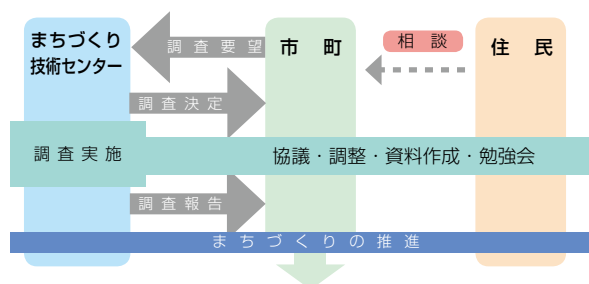


○市町まちづくり推進調査支援制度

土地区画整理事業等の円滑な事業化を推進するとともに、都市計画制度(規制・誘導)による良好なまちづくりの実現を支援します。本制度は初動期におけるまちづくりの推進に関わる調査を市町と共に実施するものです。

※制度活用にあたっては市町の費用負担は生じません。支援にあたってはセンター内で審査を行います。

別途パンフレットを用意していますのでご相談ください。



住民との合意形成



事業化検討説明会



換地設計役員会

整備された街並み

西播都市計画事業 相生駅南土地区画整理事業(相生市)

施 行 前

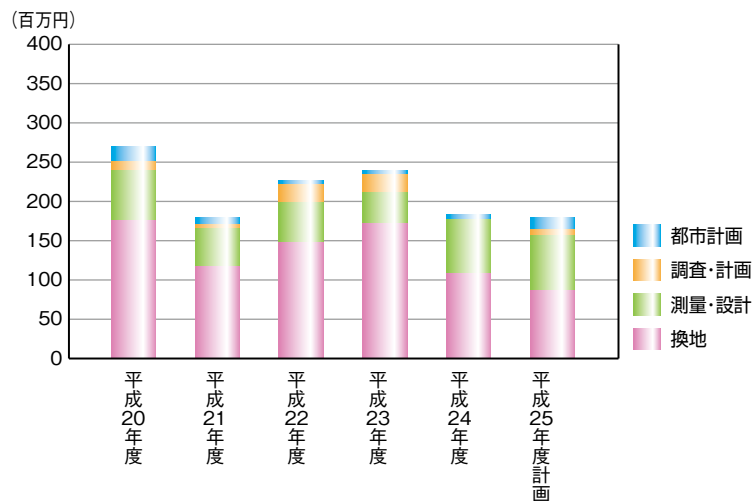


施 行 後



■ 受託実績

◇ 土地区画整理事業等



設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

2 震災被災地への専門家派遣、活動助成

阪神・淡路大震災被災地の復興まちづくり活動を支援するため、(公財)阪神・淡路大震災復興基金補助による「復興まちづくり支援事業」と、阪神・淡路大震災の経験・教訓発信事業として「東日本大震災に係るひょうごまちづくり専門家派遣事業」を実施しています。

(1)復興まちづくり支援事業

阪神・淡路大震災被災地で復興まちづくりに取り組む住民の活動の支援を行います。

①まちづくりアドバイザー派遣

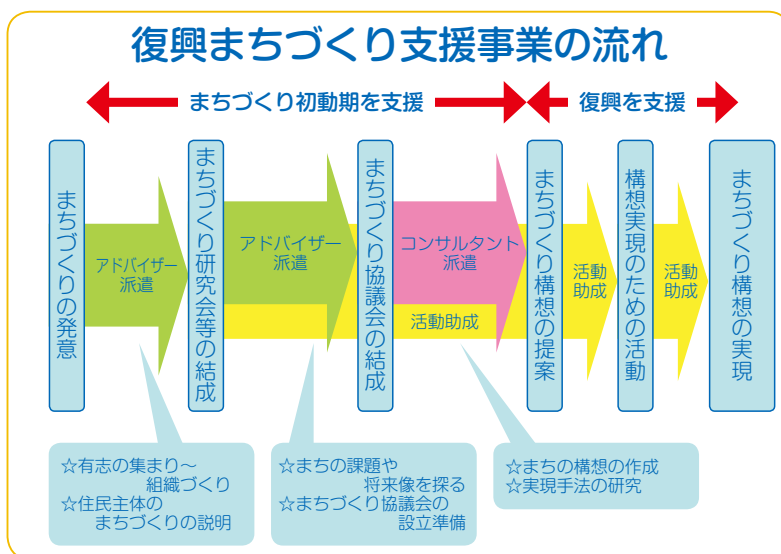
復興まちづくりに取り組もうとする地区の住民団体が行う勉強会等にまちづくりの専門家を派遣。

②まちづくりコンサルタント派遣

復興まちづくり計画(まちづくり構想、地区計画住民案等)を立案しようとする地区にまちづくりコンサルタントを派遣。

③まちづくり活動助成

復興まちづくりに取り組むまちづくり協議会等の活動に係る経費を助成。



(2)東日本大震災に係るひょうごまちづくり専門家派遣事業

東日本大震災の被災地において住民による復興まちづくりの取り組みを支援するため、阪神・淡路大震災でまちづくり協議会等が取り組むまちづくりを支援した経験を持つコンサルタント等をまちづくり専門家として派遣します。

①ひょうごまちづくり専門家バンク設置・登録事業

阪神・淡路大震災において、被災住民主体の復興まちづくりの取り組みをまちづくりの専門家として支援した経験を持つ者を登録し、以下の事業で派遣します。

また被災地からの派遣希望等に活用できるよう、インターネットで登録内容を公開しています。

②ひょうごまちづくりコンサルチーム派遣事業

ひょうごまちづくり専門家バンクの専門家らによりチームを構成し、被災地住民等の集会へ出向き阪神・淡路大震災での復興まちづくりのノウハウや教訓を伝え、住民主体のまちづくりの気運の醸成を図ります。

③ひょうごまちづくりアドバイザー派遣事業

まちづくり協議会等を立上げ、住民主体により復興まちづくりに取り組もうとする被災地の住民団体等にひょうごまちづくり専門家バンクから専門家を派遣し、阪神・淡路大震災での経験・教訓を活かしてまちづくりの取り組みのアドバイスをを行います。



ひょうごまちづくり専門家が被災地住民から状況を聞き取り、阪神・淡路大震災の経験・教訓を紹介

3 修景助成、修景支援、景観形成等活動助成

良好な景観形成を県及び市町と協力して推進していくため、景観形成地区等における建築物修景助成や景観計画策定及び住民活動を支援する「景観形成支援事業」を実施しています。

また、住民主体の景観まちづくりの推進を図るための普及啓発・人材育成等として、視察研修、シンポジウム等の実施やまちづくり専門家の登録を行います。

(1) 景観形成支援事業

① 修景助成事業

景観形成地区等の建築物等の景観形成に資する外観の整備に要する費用の一部を助成

- ・ 歴史的景観形成建築物修景助成
- ・ 一般建築物修景助成
- ・ 工作物等修景助成
(共同施設整備・屋外広告物の整備)
- ・ 重要建築物等修景助成 ほか



修景助成による外観整備の事例

② 修景支援事業

景観形成地区等での修景相談、地区住民団体による景観形成推進活動等の指導や地区または通りや街区などの景観整備計画の立案等に専門家を派遣

- ・ 景観アドバイザー派遣
(修景相談、景観まちづくり活動指導)
- ・ 景観計画策定等支援(コンサルタント派遣)

③ 景観形成等活動助成事業

地区住民団体や景観形成等推進員による景観形成等推進活動にかかる経費の一部を助成

- ・ 景観形成等住民活動助成
- ・ 景観形成等推進員活動助成

④ 近代住宅定期点検活動助成事業

県が協力を依頼した専門家団体が行う、ひょうご近代住宅100選に選定された物件の定期点検活動に係る経費の一部を助成

⑤ 景観支障建築物等除却費助成事業(新規)

景観形成地区等で管理不全な状態のため周辺の良い景観を阻害している物件について除却費の一部を助成



地区住民による景観形成に関する勉強会へアドバイザーを派遣



景観形成支援事業検証シンポジウム

(2) 普及啓発・人材育成

① 普及啓発等による推進支援

- ・ 景観まちづくりに取り組む住民団体や行政・専門家等との情報交換:「景観まちづくりシンポジウム(交流会)」の開催
- ・ まちづくり専門家と市町担当者の向け研修会:「景観まちづくり現地視察セミナー」の開催

② まちづくり専門家バンクの運営

- ・ まちづくりコンサルタントの登録
- ・ 景観アドバイザーの登録

設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

埋 蔵 文 化 財 調 査

1 開発に伴う発掘調査

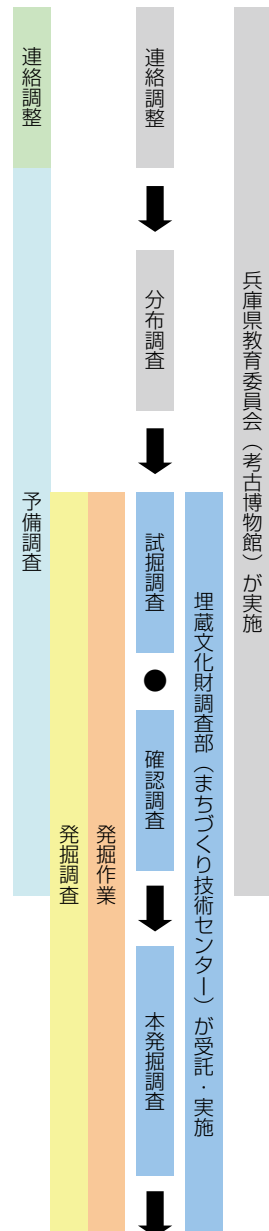
開発事業により現状保存ができない遺跡について、県教育委員会より発掘調査を受託し、試掘調査・確認調査・本発掘調査を実施し文化財の保存と活用を図ります。

- 試掘調査：埋蔵文化財の有無を確認できない場合に部分的に実施する発掘調査
- 確認調査：埋蔵文化財の範囲・性格・内容等を把握するための部分的な発掘調査
- 本発掘調査：埋蔵文化財が損壊あるいは影響を受ける範囲について記録保存を行うための発掘調査



埋蔵文化財調査部
(兵庫県立考古博物館内)

埋蔵文化財調査の流れ



発掘は、やり直しのきかない作業であり、細心の注意を払って行い、人力と機械を使い分けて効率よく実施します。

①機械掘削

土質の変化に注意しながら土器等の遺物が含まれる土層まで大型機械で掘削します。



機械掘削

②人力掘削

機械掘削の後、遺物が多く含まれる土層を人力により掘り下げ、土器等の遺物を取り上げます。



人力掘削

③発掘調査の記録

発掘調査の成果を記録として残すため、遺構や遺物の状況を写真撮影するとともに、測量や実測等も行います。

遺構や遺物の状況は写真に撮影したり、測量や実測等を行って記録を残します。調査範囲全体の平面図の作成にはヘリコプターやクレーン等で撮影した空中写真を使った測量も取り入れています。



実測

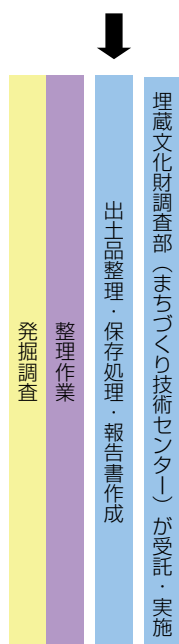


発掘調査された石垣（後）と護岸修景に再利用される石材（前）
(平福御殿屋敷跡／佐用町)



写真撮影

2 出土品整理



発掘作業で出土した出土品（遺物）には、土器・石器・金属器・木器など多種多様なものがあります。これらの多くは、壊れて原形を留めておらず、長い年月、土中に埋まっていたために劣化して、形状を維持できない状態になっています。

そのため出土品を復元し、保存処理を施したのち、発掘調査成果をとりまとめた報告書を作成します。

①接合・復元

壊れた状態で出土した土器等の破片をつなぎ合わせ（接合）、本来の形に戻します（復元）。

②実測・トレース

出土品の形や特徴を観察して正確な図面を作成し（実測）、印刷用に清書します（トレース）。

③保存処理

金属器や木器には、錆落としや樹脂含浸等の理化学処理を行います。

④報告書の作成

図面や写真等を編集して、発掘調査の記録や成果を報告書にまとめます。



接合・復元



遺物実測



保存処理



発掘調査報告書



レイアウト

3 埋蔵文化財の公開と活用

埋蔵文化財調査の成果は、多くの機会を設けて、広く県民に公開しています。

①発掘作業の現場では、現地説明会を開催し、発掘現場を体感する機会を提供しています。

②埋蔵文化財情報誌「ひょうごの遺跡」を発行し、最新の発掘調査成果を発信しています。

③年度末に発掘調査速報会を開催して、最新の発掘調査成果を発表しています。

また、兵庫県立考古博物館と協力して各種のイベントや講演会等を開催して、発掘調査作業や出土品整理事業の一端を紹介したり、講演会等の講師を務めたりして、埋蔵文化財調査への理解が深まるよう取り組んでいます。



イベント「考古博であそぼう」



企画展「ひょうごの遺跡」



現地説明会（上佐野 1 号墳／豊岡市）



埋蔵文化財情報誌「ひょうごの遺跡」

設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

技術の拠点・技術者育成

1 技術情報の管理、提供

(1) 調査研究等の推進

県の施策に関連する調査研究、新たな技術基準、マニュアル作成等のほか、委員会、協議会等の運営を含めた調査研究業務を支援しています。

『都市環境に配慮した道路舗装技術検討業務』等の調査研究に取り組んでいます。

(2) 技術顧問制度等による技術支援

県、市町等からの建設技術やまちづくりに関する相談を受け、センターが有する技術力や情報を活かし、また、8名の学識者からなるセンター技術顧問に専門的な指導や助言をもとに、適切な回答、助言を行います。

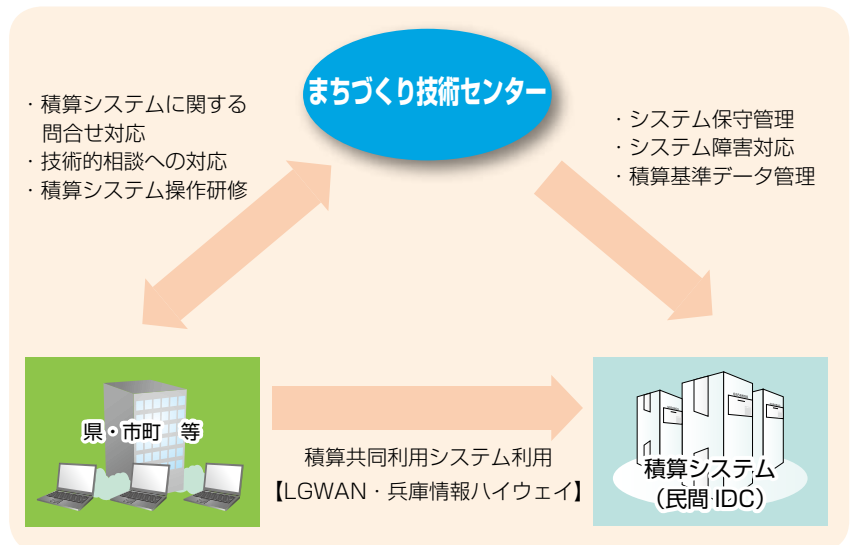


(3) 積算共同利用システム、社会基盤施設総合管理システムの運営等

① 積算共同利用システム

積算業務の効率化・コスト縮減等を図るため、県・市町等が共同で利用する「兵庫県積算共同利用システム」の運営・維持管理を行うとともに、必要となる積算基準データの作成・提供を行っています。

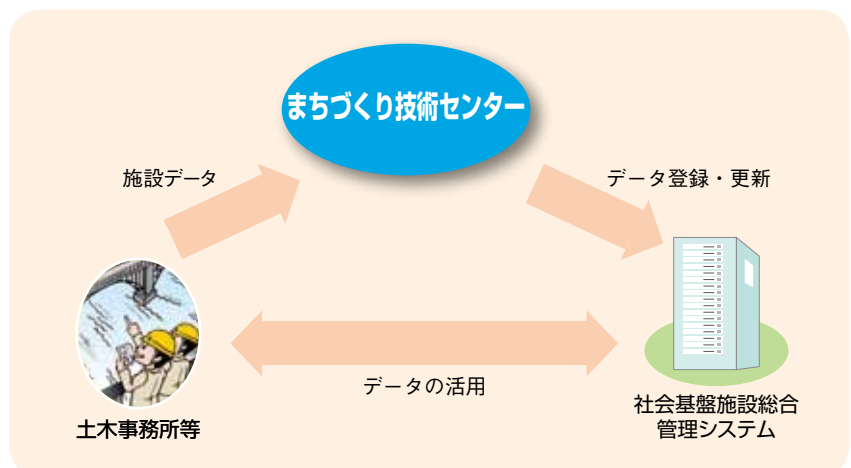
また、県・市町職員を対象とした積算共同利用システムの操作研修や、市町からの積算に関する技術的相談への対応等、県・市町の積算技術向上を支援する取り組みを行っています。



② 社会基盤施設総合管理システム

社会基盤施設の計画的、効率的な維持管理や施設の老朽化対策を支援するため、兵庫県が構築を進めている社会基盤施設総合管理システムに施設台帳や点検結果、位置情報を登録するとともに、登録データの更新を行います。

また、システム操作に関する問合せの対応や、県が実施する操作研修の補助など、システム利用者の支援を行います。



③新技術・新工法活用システム等

兵庫県県土整備部が施行している『新技術・新工法活用システム』における受付、登録、データベース運営を行い、当センターホームページや技術発表会等を通じて建設技術情報の発信を行っています。

県、市町が活用する建設技術に関するデータベースサイトである県土整備部ポータルサイト「匠」の適切な維持管理を行い行政の効率的な執行を支援します。

(4)技術情報誌の発行

社会基盤整備事業の紹介や建設、まちづくり、下水道等に関する技術情報を提供するセンター機関誌「CON-TECHひょうご」を年2回発行し、県・市町の職員に配布しています。

とりわけ、整備手法や整備後の利活用等に特色のある事業を紹介していくことに重点をおき、県・市町が行う新規事業の参考となることを目標としています。

●販売図書

(5)技術図書の発行

建設技術及び公共工事の契約に関する図書を発行・販売しています。

また、これら発行図書の改訂情報は当センターのホームページに随時掲載しています。

(6)センターの情報セキュリティ対策

社会基盤施設の基礎データや工事費積算情報等、重要な情報を保有する団体として、当センターでは、平成25年2月に『情報セキュリティ対策指針』を策定し、情報セキュリティの確保に努めています。

土木請負工事必携	(平成19年10月)
土木工事共通仕様書	(平成19年10月)
土木工事施工管理基準	(平成19年10月)
小型構造物標準図集	(平成13年1月)
土木設計業務等委託必携	(平成22年9月)
兵庫の地質	(平成9年3月)

2 防災エキスパート活動支援

災害時には、道路や河川など公共土木施設の被害状況等を迅速、的確に把握することが重要です。このため、大災害に備え、公共土木施設の整備や維持管理に長年携わってこられた県や市町職員のOBが、そのノウハウを活かしボランティアとして活動する「兵庫県防災エキスパート登録制度」を、当センターが事務局となって運営しています。

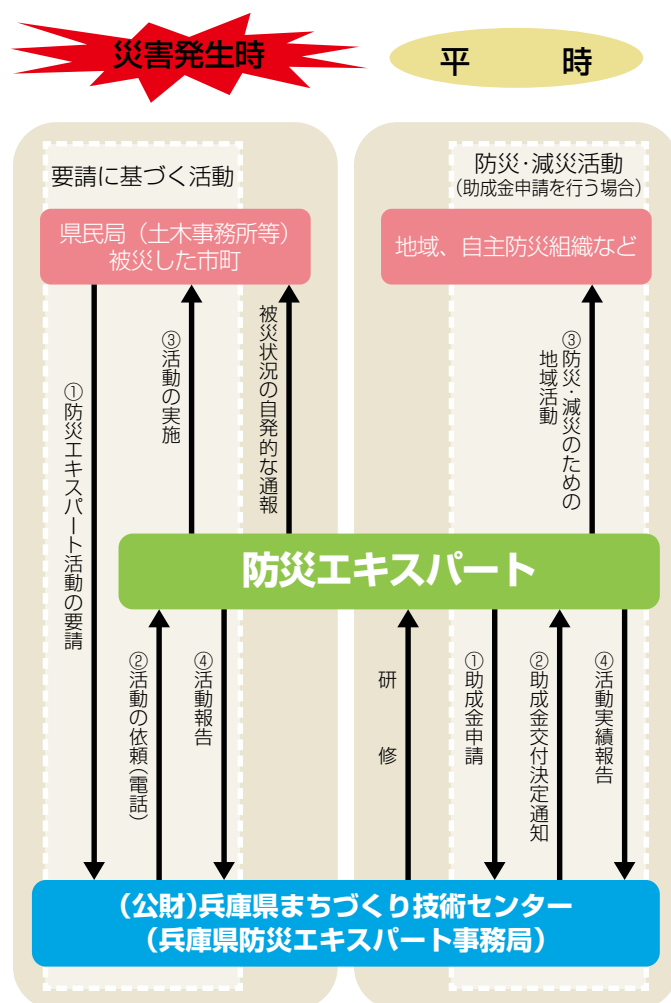
災害発生時、事務局に活動要請をしていただければ、エキスパートへの活動依頼をはじめ派遣日時の調整などを行い、復旧活動を積極的に支援します。

●防災エキスパートの登録状況 (平成25年3月末現在)

出身団体	人数
国	3
県	348
市町	29
その他	1
合計	381



平成21年台風9号における防災エキスパート活動状況



設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成

3 技術公務員の階層別、専門分野別研修

(1) 階層別研修

県・市町の建設技術職員の資質の向上を図るため、それぞれの階層に見合ったテーマで研修を実施します。

① 県土整備部技術職員(土木職)研修

採用職員研修	平成25年度採用職員 技術職員としての基礎知識の修得
フォローアップ研修	平成24年度採用職員 測量～設計～積算の実務演習
中級技術職員研修	採用後概ね6年以上(あるいは28才以上)を経過した職員 福祉のまちづくりにおける専門知識の修得
主任技術職員研修	平成25年度主任昇格者 課題解決能力を養う事例研究
5級技術職員研修	5級職員 施策課題に関するグループ討議
係長・課長研修	平成25年度係長・課長昇格者 監督職としての見識と管理能力の向上
再任用職員研修Ⅰ	平成25年度再任用職員 積算システム演習中心のIT実務能力の向上
再任用職員研修Ⅱ	平成25年度再任用職員 工事検査、占用及び許認可に関する実務能力の向上
採用職員研修 (職種転換者対象)	平成25年度採用職員(職種転換者) 行政職技術職員としての基礎知識の修得



フォローアップ研修(土木職)



採用職員研修(建築・機械・電気職)



建築基礎研修

② 県土整備部技術職員(建築・機械・電気職)研修

採用職員研修	平成25年度採用職員 技術職員としての基礎知識の修得
5級技術職員研修	5級職員 話題性のあるテーマ、重要施策等についての知識の修得

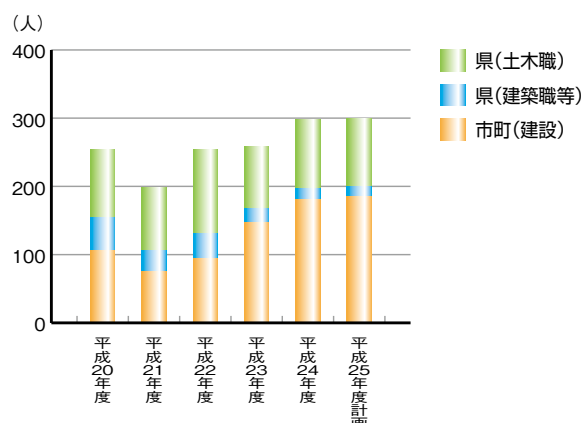
③ 市町建設事業担当職員研修

建設基礎研修	実務経験が3年以内の職員 積算、工事監督など、職務上の基礎知識の修得
現場監督実務研修	実務経験が3年程度の職員 工事監督の留意点等の現場実習による基礎知識の修得
中級研修(Ⅰ)	実務経験が5年程度の職員 コンクリート受入検査実習等中級職員としての基礎知識の修得
中級研修(Ⅱ)	実務経験が10年程度の職員 福祉のまちづくりにおける専門知識の修得



中級研修(Ⅰ)

■階層別研修



(2)専門分野別研修

分野ごとの専門知識を修得できる技術講習会を、県・市町の実務担当職員を対象に実施します。

① 建設技術研修

〔講習会〕

災害復旧	土木施設の災害発生時の応急対応及び災害復旧事業等の採択に向けた調査・設計等、災害査定に必要な基本知識
コンクリート構造物の施工と維持管理	コンクリート構造物の長寿命化を図るための施工と維持管理の基礎知識
建設工事における失敗事例に学ぶ	土木構造物の設計及び施工において、ミス事例から学ぶ
河川	河川行政に求められる実務能力の向上
地盤調査(切土・盛土)	切土・盛土設計に必要な地盤調査計画、結果評価とそのポイント
PC橋	PC橋の施工及び維持修繕の基礎知識
下水道	下水道長寿命化計画策定や適正な維持管理についての基礎知識



災害復旧講習会



交差点計画演習



地盤調査・試験・演習

〔演習コース〕

支持力計算	土質定数の考え方と支持力計算
道路計画	道路計画の手順と線形計画・縦横断計画
構造物設計	擁壁の安定計算と断面計算の手順
交差点計画	平面交差の計画と設計
仮設構造物設計	土留工の計画と施工、自立式土留工の設計演習
地盤調査・試験	地質調査、工事監理における調査・試験についての演習
As舗装修繕・設計	As舗装の設計と維持修繕
PC橋設計	PC橋設計の基本と設計演習

② まちづくり担当職員研修

土地区画整理研修	土地区画整理事業の基礎知識の修得
まちづくり研修	まちづくりに関する知識の修得



橋梁簡易点検講習会

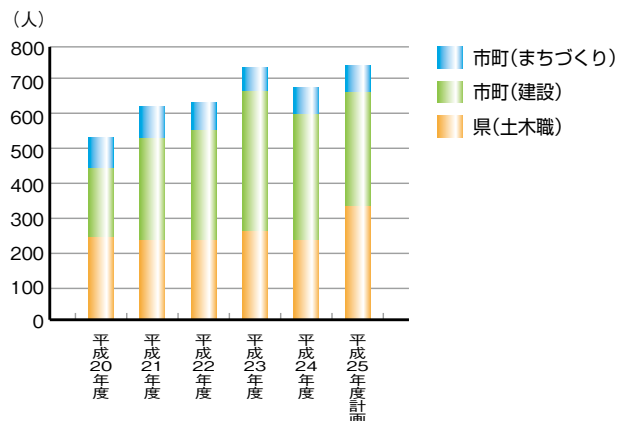
(3)橋梁簡易点検講習会

橋梁に関する損傷の早期発見、補修の必要性等計画的な維持管理に必要な点検技術を修得するため、市町職員を対象とした橋梁簡易点検講習会を実施します。

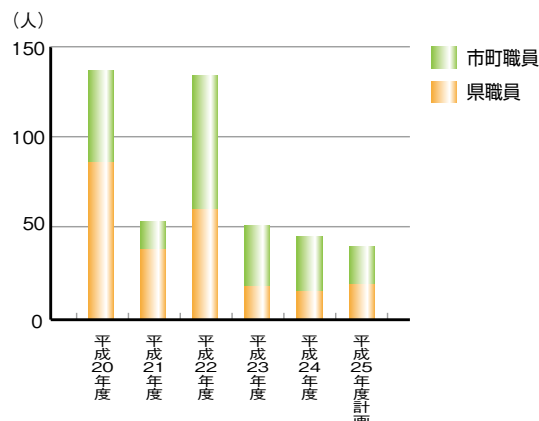
(4)現場研修

県内の先進的な建設現場を視察し、各現場での取り組みを学ぶ場として、県・市町の実務担当職員を対象に現場研修会を実施します。

■専門分野別研修



■現場研修



設計・積算・工事監理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・技術者育成



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

総務部 企画部 建設技術部 下水道事業部 都市整備部

〒650-0023
神戸市中央区栄町通 6-1-21(神明ビル 5・6 F)
TEL 078-367-1230(代) FAX 078-367-1232
E-mail info@hyogo-ctc.or.jp
URL http://www.hyogo-ctc.or.jp

埋蔵文化財調査部

〒675-0142
加古郡播磨町大中 1-1-1 (兵庫県立考古博物館内)
TEL 079-437-5561 FAX 079-437-5591

阪神事務所

〒662-0911
西宮市池田町 9-7-216(フレンテ西館 2 F)
TEL 0798-34-2275 FAX 0798-34-2285

播磨事務所

建設技術第 1 課

〒670-0965
姫路市東延末 5-83(播磨漁友会館 3 F)
TEL 079-281-3377 FAX 079-281-3388

建設技術第 2 課(佐用)

〒679-5523
佐用郡佐用町上月787-2 (佐用町役場上月支所 2 F)
TEL 0790-86-8001 FAX 0790-86-8002

但馬事務所

〒668-0055
豊岡市昭和町 2-56(サカモトビル 2 F)
TEL 0796-29-3031 FAX 0796-29-3073

丹波事務所

〒669-3309
丹波市柏原町柏原上中町東側280-1
(N T T 丹波柏原別館 1 F)
TEL 0795-73-3750 FAX 0795-73-3660

淡路事務所

〒656-2132
淡路市志筑新島 5-1
(兵庫県企業庁 阪神・淡路臨海建設事務所内)
TEL 0799-60-1950 FAX 0799-60-1960

武庫川流域下水道管理事務所

武庫川下流浄化センター

〒660-0087
尼崎市平左衛門町18-4
TEL 06-6419-4231 FAX 06-6419-3379

兵庫東スラッジセンター

〒660-0087
尼崎市平左衛門町65-10
TEL 06-6411-8356 FAX 06-6414-2225

武庫川上流浄化センター

〒651-1503
神戸市北区道場町生野字飛瀬
TEL 078-985-6621 FAX 078-985-6623

加古川流域下水道管理事務所

加古川下流浄化センター

〒675-0025
加古川市尾上町養田1687-2
TEL 079-424-1313 FAX 079-424-1314

加古川上流浄化センター

〒675-1345
小野市黍田町398-2
TEL 0794-63-5554 FAX 0794-63-7540

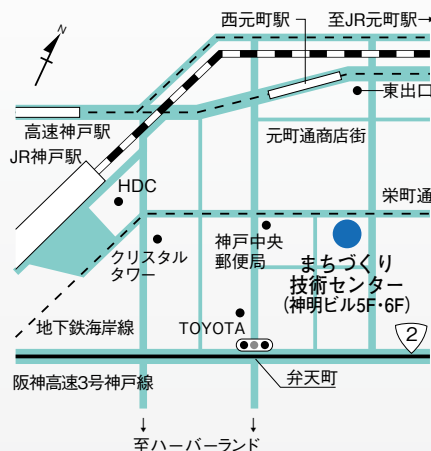
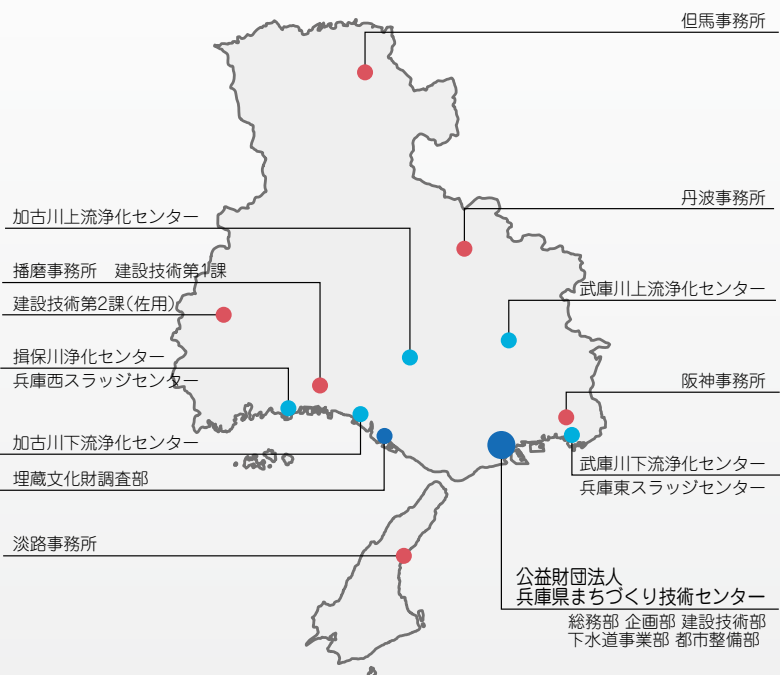
揖保川流域下水道管理事務所

揖保川浄化センター

〒671-1241
姫路市網干区興浜字第一味岡2093
TEL 079-274-2922 FAX 079-274-2925

兵庫西スラッジセンター

〒671-1236
姫路市網干区網干浜240-2
TEL 079-272-1637 FAX 079-271-2114



表紙写真

- | | |
|---|------------------------------------|
| ① | ① 与布土ダム建設工事(積算・工事監理) |
| ② | ② 兵庫西スラッジセンター(流域下水汚泥処理施設の維持管理) |
| ③ | ③ 阪神間都市計画事業 中筋JRN南土地区画整理事業(土地区画整理) |
| ④ | ④ 平福御殿屋敷跡(埋蔵文化財調査) |